



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月14日

上場会社名 フォルシア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 304A URL <https://www.forcia.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 屋代 浩子  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 洲巻 圭介 (TEL) 03(6457)4294  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	1,659	0.7	50	△62.6	51	△60.3	31	△65.8
2025年2月期第3四半期	1,647	—	134	—	130	—	92	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	25.74	—
2025年2月期第3四半期	92.75	—

(注) 1. 2024年2月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2024年8月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	2,188	1,970	90.0
2025年2月期	2,191	1,939	88.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,970百万円 2025年2月期 1,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,492	7.9	249	15.9	249	25.8	171	30.5	139.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	1,231,900株	2025年2月期	1,231,900株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	一株	2025年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	1,231,900株	2025年2月期3Q	1,000,000株

(注) 当社は2024年8月31日付で普通株式1株につき100の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、国際情勢の不透明感や原材料価格の高止まり、為替変動などの影響もあり、先行きに対しても慎重な見方が広がる状況となりました。また、生成AIをはじめとするデジタル技術の実装が一層進展する中、業務効率化・高度化を目的としたデジタル投資の需要は引き続き高水準で推移しています。当社が主にサービスを提供する旅行・観光業界においては、訪日外国人旅行（インバウンド）需要が高水準で推移している一方、主要市場の一部において政治・外交要因などが需給動向に新たな影響を与え、市場構造そのものが変化する可能性も示唆されています。

こうした事業環境のもと、当社は独自の検索技術基盤「Spook」を軸としたソリューション型サービス、旅行・観光業界向け商品販売プラットフォーム「webコネクト」を軸としたSaaS型サービスの二軸で事業を展開しています。両サービスはいずれも「初期開発収益」と「月額収益」で構成され、初期開発収益はプロジェクトの受注状況や進捗に応じて四半期ごとに変動する一方、月額収益は導入顧客数の増加に比例して安定的に積み上がり、持続的な成長を支える基盤となります。当社では、ソリューション型・SaaS型双方において、サービス稼働に至るまでの開発プロセスに応じて初期開発収益を段階的に認識し、サービス稼働後には月額収益を計上する収益モデルを有しています。

当第3四半期累計期間においては、新規顧客におけるwebコネクト導入プロジェクトの要件定義が順次開始されるなど、SaaS型サービスに対する新たな需要の顕在化が見られました。一方、下期に設計・開発フェーズの受注を見込んでいた新規大型案件については、要件定義フェーズは完了しているものの、当第3四半期においても設計・開発フェーズの受注には至りませんでした。この結果、初期開発収益の計上が当初想定よりも後ろ倒しとなり、売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

他方、当社では延伸している新規大型案件の開発着手を見越して、上期より体制拡充を進めており、外注費・人件費等を中心とする費用の先行計上が継続いたしました。これに加え、サービス品質の向上及び中長期的な収益基盤の拡大に向けたプロダクト開発等の先行的な取り組みも継続していることから、営業利益は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が1,659百万円（前年同期比100.7%）、営業利益は50百万円（同37.4%）、経常利益は51百万円（同39.7%）、四半期純利益は31百万円（同34.2%）となりました。当社は、デジタルビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、延伸している新規大型案件につきましては、引き続き顧客側において発注に向けたプロセスが進行しており、第4四半期中に受注に至る見込みです。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,750百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に売掛金が増加したものの、契約資産、前払費用が減少したためであります。固定資産は438百万円となり、前事業年度末に比べ60百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア、繰延税金資産が増加したためであります。この結果、総資産は2,188百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少いたしました。

当第3四半期会計期間末における負債合計は218百万円となり、前事業年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が増加したものの、未払法人税等、未払金が減少したためであります。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,970百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が想定する開発需要は中長期的に堅調に推移しており、事業環境や需要動向に大きな変化が生じているものではありません。「(1) 経営成績に関する説明」で記載したとおり、下期に設計・開発フェーズの着手を見込んでいた新規大型案件については第4四半期中に受注に至る見込みです。当期中の見込み案件、新規大型案件の受注時期及び収益認識タイミング、開発体制拡充に伴う費用の先行計上の状況等を踏まえ、通期業績予想について精査した結果、売上高及び営業利益について、前回公表予想から修正の必要ないと判断いたしました。

このため、2026年2月期の通期業績予想につきましては、2025年4月14日に公表いたしました「2025年2月期決算短信」に記載の数値を据え置いております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,230,480	1,226,925
売掛金	292,794	314,000
契約資産	242,468	163,078
前払費用	45,859	40,030
その他	2,163	5,994
<b>流動資産合計</b>	<b>1,813,766</b>	<b>1,750,029</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	17,309	17,763
工具、器具及び備品（純額）	15,201	17,371
建設仮勘定	1,576	3,458
<b>有形固定資産合計</b>	<b>34,086</b>	<b>38,592</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウエア	96,710	163,947
ソフトウエア仮勘定	110,423	87,680
<b>無形固定資産合計</b>	<b>207,133</b>	<b>251,628</b>
<b>投資その他の資産</b>		
敷金	107,508	106,359
繰延税金資産	28,250	40,130
長期前払費用	892	1,125
その他	—	1,004
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>136,651</b>	<b>148,618</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>377,871</b>	<b>438,840</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,191,637</b>	<b>2,188,869</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	48,936	56,216
未払金	87,395	66,341
未払法人税等	63,636	2,764
契約負債	1,760	330
預り金	26,813	17,030
賞与引当金	—	58,650
その他	23,934	16,668
<b>流動負債合計</b>	<b>252,476</b>	<b>218,002</b>
<b>負債合計</b>	<b>252,476</b>	<b>218,002</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	236,679	236,679
資本剰余金	236,679	236,679
利益剰余金	1,465,802	1,497,507
<b>株主資本合計</b>	<b>1,939,161</b>	<b>1,970,866</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,939,161</b>	<b>1,970,866</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,191,637</b>	<b>2,188,869</b>

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,647,940	1,659,796
売上原価	771,473	857,893
売上総利益	876,466	801,902
販売費及び一般管理費	742,366	751,753
営業利益	134,100	50,148
営業外収益		
受取利息	71	1,170
固定資産受贈益	—	330
補助金収入	600	—
その他	26	81
営業外収益合計	698	1,582
営業外費用		
上場関連費用	4,602	—
営業外費用合計	4,602	—
経常利益	130,196	51,731
特別損失		
有形固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	130,196	51,731
法人税、住民税及び事業税	84,689	31,906
法人税等調整額	△47,241	△11,880
法人税等合計	37,448	20,026
四半期純利益	92,748	31,705

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間（自2024年3月1日 至2024年11月30日）

当社は、デジタルビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間（自2025年3月1日 至2025年11月30日）

当社は、デジタルビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	39,023千円	52,366千円